



## 優しさは連鎖する

校長 池田 耕司

私の好きな「人生案内」（読売新聞、令和2年8月26日）の記事です。これは、いわゆる「お悩み相談」のコーナーです。ちょっと私の心に留まったので、ぜひ読んでみてください。今回の回答者はスポーツ解説者で、元マラソンランナーの増田明美さんです。

## 【相談内容】

10代の女子学生。病気で学校を休んでいる友だちに罪悪感を抱いています。彼女はクラスメートです。同じクラスのほとんどの生徒は、休んでいる理由が病気だと知りません。私は彼女と特に親しかったわけではないのですが、たまたま病気のことを知ってしまいました。それで、彼女の入院した病院に何度もお見舞いに行ったり、手紙を送ったりしています。

ある日、お見舞いの帰りに彼女のお母さんから抱きしめられ、「これからも仲良くしてね。」と言われました。もちろんそのつもりです。でも「私はお見舞いする自分に酔っているのでは」「クラスの中で自分だけということに優越感を持っているのでは」「急に仲良くし始めた私を彼女は不審に思っているのでは」などと思ってしまいました。彼女を「かわいそうな人」と思うから親切にしているのかもしれないと思うと申し訳なくて、手紙も薄っぺらく思えてきます。私は彼女とどう接するべきでしょうか。（東京・F子）

## 【回答】

あなたは自分に正直な人ですね。そして心が美しいから、自分の心を客観的に深掘りして苦しんでいます。困っている人に手を差し伸べる時、あなたと同じ気持ちになる人は少なくないと思いますよ。

でも、自分に酔っていろいろ、相手に対して優越感を持つのが、何もしないで傍観するよりも、苦しんでいる人を助けることが大切なのだと思います。また、お見舞いに行くことにも罪悪感を持っていますが、大事なのは相手がどう感じているかです。それはお母さんの「これからも仲良くしてね。」の言葉と行為に表れているのではないのでしょうか。

病気で学校に行けず心細い思いをしているクラスメートにとって、あなたからのお手紙とお見舞いはどれほどうれしかったことでしょう。気にしてくれる人がいるって心強いですよ。

彼女の病気が治ったら、本当に仲の良いお友だちとして接することができるかもしれませんね。これからも自分の心に素直に従ってください。優しさは連鎖しますから、あなたの周りに美しい風景が広がりそうです。（スポーツ解説者 増田 明美）

今日、あなたが誰かに伝えた言葉や行為が、その誰かの心に「優しさ」となって残り、一生忘れないでいるかもしれません。そして、その誰かが、その「優しさ」を、次に他の誰かに伝えようとするれば、優しさは連鎖していきます。その先には、どんな美しい風景が見えるのでしょうか。

赤見台中学校にも、そんな美しい風景が広がるといいな。



## 令和3年度赤見台中学校始動

4月8日(木)に始業式・入学式が行われました。午前の始業式では、各学年代表からの「新年度の抱負」の発表があり、新年度への意気込みが感じられました。午後からは第36回入学式が行われ、144名の新生が本校の仲間入りをしました。一人一人が希望に満ちた元気な返事で良いスタートをきりました。



日	曜	5月の行事予定	部活
1	土		
2	日		
3	月	憲法記念日	
4	火	みどりの日	
5	水	こどもの日	
6	木	全校朝会 歯科検診 45分授業	×○
7	金	内科検診 45分授業②③④⑤⑥	×○
8	土		
9	日		
10	月	学年朝会 安全点検 教材費引落	×○
11	火	埼玉県学力・学習状況調査(全学年)	×○
12	水	⑥生徒総会	×○
13	木	歯科検診 各種委員会 45分授業	×○
14	金		×○
15	土		
16	日		
17	月	教育実習開始(～6/4)	×○
18	火	眼科検診	×○
19	水	避難訓練 耳鼻科検診	×○
20	木	通信陸上班大会	×○
21	金	通信陸上班大会 テスト前部休	××
22	土	PTA 運営委員会 応援支隊総会	
23	日		
24	月		××
25	火	心臓検診(1年)	××
26	水	中間テスト	×○
27	木	全国学力・学習状況調査(3年) 生徒評議会	×○
28	金	心臓検診予備	×○
29	土		
30	日		
31	月		×○

### 心のこもった新入生を迎える会

4月14日(水)に新入生を迎える会が行われました。感染拡大防止のため、1年生は体育館で、2,3年生の係のない生徒はリモートでの参加となりました。3年生の力強い「よさこい鳴子踊り」から始まり、生徒会紹介、部活動紹介など短い準備の中でしたが、心のこもった会となりました。新入生お礼の言葉からも大変楽しめた様子が伝わりました。



### 感謝の気持ちを伝えられた離任式

4月23日(金)昨年度まで本校に勤務された先生方の離任式が行われました。生徒たちにとっても先生方にとっても、久しぶりに会える喜びとこれが最後になるという寂しさを感じられる会でした。各先生方から赤中での思い出や赤中生へのエールがおくられました。生徒たちの話を聞く態度に感謝の気持ちが表れていました。

